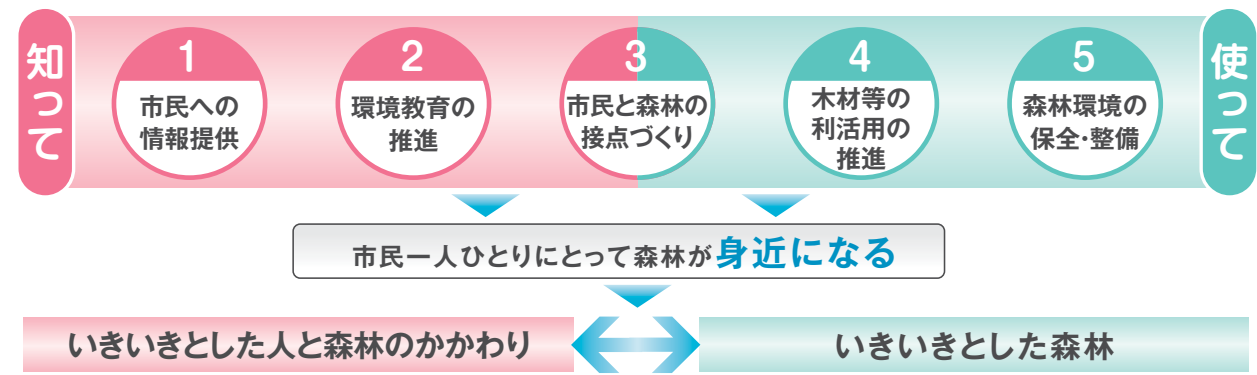


4. 基本方針

相模原市内の森林が、市民一人ひとりにとって、「知って、使って、身近になる。」ために、以下の5つを基本方針と定め、将来像の実現に向けて取り組みます。



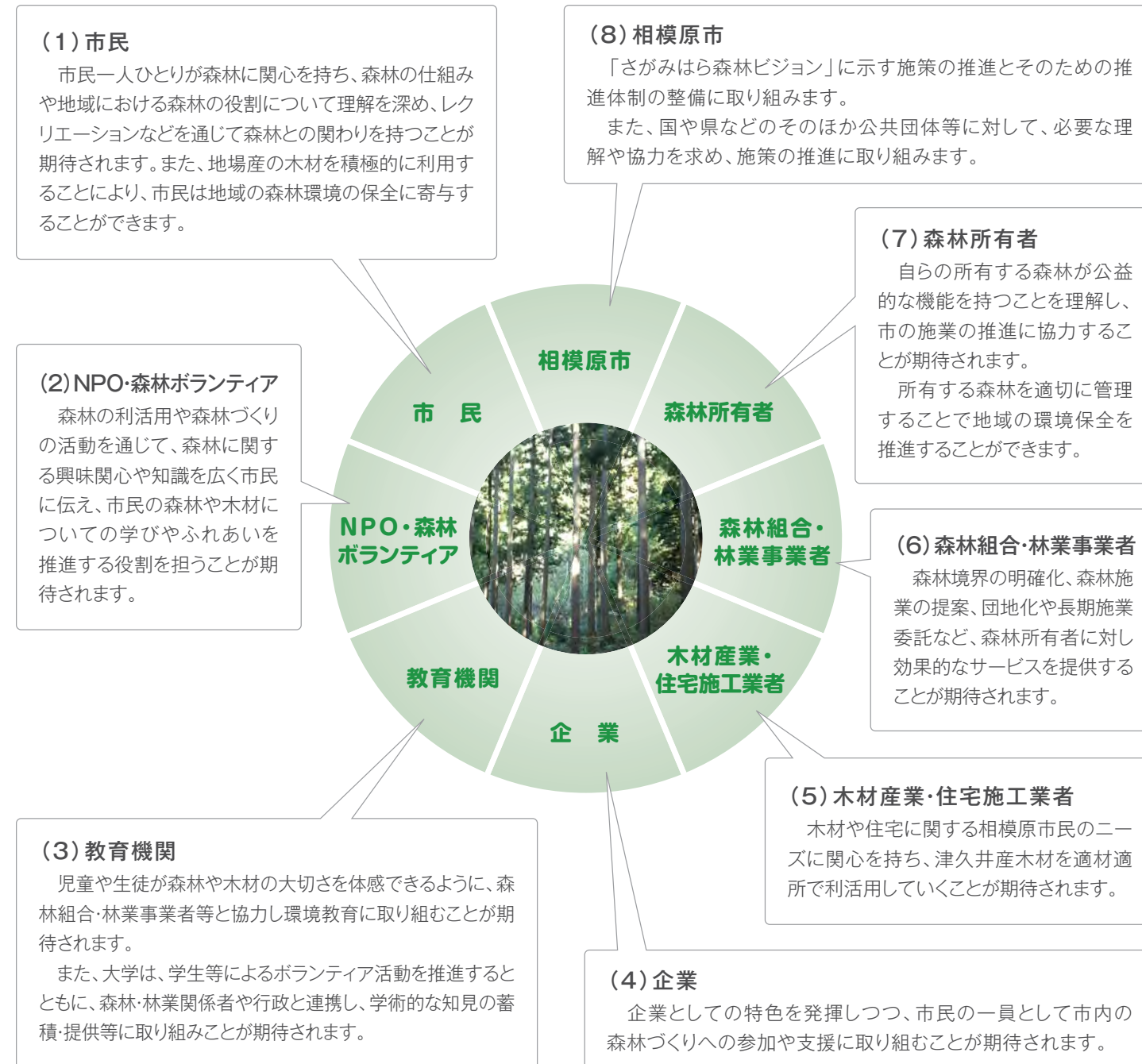
5. 基本施策の体系

「5つの基本方針」に基づき、以下のような基本施策に取り組みます。

基本方針	基本施策	主な取り組み項目
「知る」アプローチ ① 市民への情報提供	① ホームページなど多様な媒体による情報発信の推進	森林づくり活動などの情報を提供するポータルサイトの開設・運営
	② イベントなどの開催による普及・啓発活動の推進	市民向け森林体験教室などの開催の促進 催し物などでの情報提供の推進
「知る」アプローチ ② 環境教育の推進	① 児童・生徒の環境教育の推進	森林をフィールドとした体験学習の推進 地域の自然や森林と人の暮らしなど、郷土に学ぶ活動の推進
	② 市民主体による環境教育の推進	市民が主体となって行う体験活動・交流活動の場としての森林の活用促進
	③ 「木育」の推進	材料としての木材の良さや、その利用の意義を学ぶ、木材利用に関する教育活動(木育)の推進
「知る」アプローチ ③ 市民と森林の接点づくり	① 市民が森林と触れ合う機会の創出	市有林等を活用した「市民の森」の整備の検討 都市のみどりの保全・再生の推進
	② 都市地域と森林地域をつなぐ交流の推進	里地と一体となった里山の保全・再生、活用の推進 地域資源や人材を活用した体験・交流型観光プログラムの開発の推進
	③ 多様な主体との協働による森林づくり体制の強化	市民や企業など多様な主体との協働による森林整備の推進 森林ボランティアやインストラクターの育成・支援の推進
「使う」アプローチ ④ 木材等の利活用の推進	① 木材の利用拡大	材質に応じた木材流通の最適化の促進 公共建築物への利用促進 地産地消の促進 木材の多様な利用のための技術・商品開発の促進
	② 木材の安定供給体制構築に向けた取り組み	効率的な木材生産システムの開発・導入促進 路網整備の推進 施業集約化の推進 林業の担い手育成 技術開発のためのモデル団地の設定
「使う」アプローチ ⑤ 森林環境の保全・整備	① 健全な森林の保全・育成	適切な森林管理の推進 森林所有者への意識啓発 森林の現況把握とモニタリングの推進
	② 市民生活を守る森林の保全・育成	鳥獣被害対策の推進 花粉症対策の推進 不法投棄対策の推進 残土処分地等の開発事業対策の推進

6. ビジョン推進のために

「さがみはら森林ビジョン」の実現に向けた取組を進めるためには、市、市民、NPO・森林ボランティア、教育機関、企業、木材産業・住宅施工業者、森林組合・林業従事者、森林所有者等のあらゆる関係者が、それぞれの立場に応じて連携し、施策の実施のために協力していくことが大切です。



さがみはら森林ビジョン - 概要版 -

発行日/平成23年3月

発行/相模原市 環境経済局 経済部 津久井経済観光課
〒252-5172 相模原市緑区中野633番地
TEL : 042-780-1416
E-mail : tsukui-keizai@city.sagamihara.kanagawa.jp



さがみはら
いきいきとした人と森林のかかわりを求めて
森林ビジョン

概要版



平成23年度
相模原市

1.ビジョンの概要

(1) 策定の目的

相模原市は津久井地域との合併により、市域の約6割を森林が占める都市となりました。わたしたちは、この限りある大切な森林資源を保全・再生し、循環・継続的に利用することにより、市内の豊かな森林を健全な姿で次世代に引き継いでいく必要があります。

そのためには、長期的な森林の将来像を見据え、木材の利活用を図り、森林所有者、林業関係者、市民等との連携のもと、森林の持つ公益的機能に対する理解を促進し、市民全体で支える森林整備体制を構築していく必要があることから「さがみはら森林ビジョン」を策定するものです。



(2) 位置づけ

「さがみはら森林ビジョン」は、「新・相模原市総合計画」の部門別計画として位置づけられ、相模原市の森林行政の中心的な役割を担うものです。

本ビジョンの実現に向けた具体的な目標等については、相模原市森林整備計画等において別途定めることとします。

なお、本ビジョンに掲げる施策の推進にあたっては、国や県の実施する森林関連の諸施策と連携・協調を図りながら進めます。

(3) 計画期間

「さがみはら森林ビジョン」では、50年後の相模原市において理想とされる森林の将来像を想定しつつ、「新・相模原市総合計画」の基本構想を踏まえ、今後20年間についての基本的な施策の方向性を明らかにしています。

2.相模原市の森林の課題

(1) 知られていない市内の森林

津久井地域との合併により相模原市の面積の約60%が森林となりました。市内の森林の多くは、かつて建築用材や薪炭などを供給する場所として活用されてきました。しかし、生活様式などの変化により、現在では、市民が森林と接する機会は少なく、市内の森林についてほとんど意識されていない状況にあります。



伐採したまま放置された木材

(2) 使われていない身近な木材資源

市内の森林で間伐された木材は、大半が森林内に放置されている状態にあります。この原因としては、山が急峻なため木材を運び出すための搬出経費が高くなりやすいことや、林業の担い手不足、林道などの路網が十分に整備されていないことなどが考えられます。



土壌が裸地化しつつあるヒノキ林

(3) 手が入られていない市内の森林

スギやヒノキなどの人工林は、間伐などの手入れを繰り返しながら、木材として利用することを目的として植林されたものです。しかし、木材の価格は年々低下しており、木を育てても採算が合わないことから、必要な手入れが行われていない森林が多くなっています。

3.相模原市の目指す森林の将来像

相模原市の森林は、市民にあまり知られておらず、木材は使われておらず、結果としてあまり身近に感じられていません。このような現状を踏まえると、今後、市内の森林資源を有効に活用するためには、森林と市民の「かかわり」を新たに創造していくことが重要であると考えられます。

そこで、本ビジョンでは、まず市民が市内の森林について「知って」、木材を「使って」、その結果、森林が市民一人ひとりにとって「身近になる」ことを目指します。

森林の存在が市民にとって身近なものとなることにより、森林と市民の間にはさまざまなかかわりが育まれるものと期待されます。

20年後 「いきいきとした人と森林のかかわり」の将来像*

■ 森林についての情報が豊富にあり、人が森林とかかわりやすくなっています

- (例)
- 市内の森林に関する情報をいつでも簡単に知ることができる。
 - 森林に関する講習会等が定期的開催されている。
 - 市民ボランティアの活動がさかんに行われている。



■ 次世代の担い手である子どもたちが、森林と共に育まれています

- (例)
- 大人と子どもと一緒に森林で自然体験活動をしている。
 - 林間学校など体験型環境教育への参加者が増えている。



■ 森林が、市民みんなの集う場所になっています

- (例)
- 登山・観光・生きもの観察・スポーツなど多様な活動の場となっている。
 - 企業やNPOなど協働して森林を利用する多様な主体が存在している。



■ 森林の恵みであるさまざまな資源が、市民の生活を彩っています

- (例)
- 建築用材や内装材として津久井産の木材が使われている。
 - 学校、役所などの公共建築に津久井産木材が利用されている。
 - 身の回りに津久井産の木材を素材とする木工品がある。
 - 薪・ペレットなどの木質バイオマスの熱源としての利用が広がっている。



■ 森林産業が市内の経済基盤の一翼を担っています

- (例)
- 森林産業の従事者が拡大している。
 - 「津久井産木材の家」を作るネットワークが構築されている。
 - 木工品や林産物が「相模原市の名産品」として広く知られている。
 - 交通網の中心であることを活かし木材産業の拠点が市内にできている。

■ 地理的所在や利用状況に応じて、適正な森林の管理が行われています

- (例)
- 道路沿いの森林整備が進み、道路環境や地域景観の改善が図られている。
 - 山間部の森林整備が進み、鳥獣被害が緩和されている。
 - 希少な生物の生息場所となる森林が、適切に保全されている。
 - 伐採後の植林が進み、循環的な森林資源利用が行われている。

* 市政モニターアンケート調査の自由回答等の記載に基づき作成

さらに、新たに育まれた「人と森林のかかわり」を通じて、相模原市の森林環境は、次第に「いきいきとした森林」へと変化を遂げるものと期待されます。

「いきいきとした人と森林のかかわり」と「いきいきとした森林」は、いずれも「知って、使って、身近になる」という状態が実現されることにより達成される成果です。しかしながら、人間の社会経済活動のあり方に比べて森林の生態や景観はよりゆっくりと変化することから、本ビジョンでは「いきいきとした人と森林のかかわり」については20年後を、「いきいきとした森林」については50年後を目標時点として将来像を描くこととします。

50年後 「いきいきとした森林」を構成するさまざまなタイプの森林



都市の森林

都市地域の住民の憩いの場となる

里山の森林

田んぼや畑、集落とともに維持・管理される

生産の森林

木質資源の循環的な生産の場となる

共存の森林

多様な生きものすみかとなり市民の暮らしを守る

奥山の森林

標高が高く自然度の高い